

ROTARY INTERNATIONAL

Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries
of District 260

District 260
RI Governor

KOUZO FUKUTA

Chunichi Bldg 7F 4-1-1 Sakae Naka-ku
Nagoya Aichi Japan 460

Phone 052-263-7241 Fax 052-251-0581

NO. **3**
昭和60年8月15日

国際ロータリー第260地区ガバナー

福田 浩三

〒460 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階727号室
電話 052-263-7241 ファックス 052-251-0581

YOU ARE THE KEY

あなたが鍵です



R I 会長室にて

国際大会報告

ガバナー 福田 浩三

◆国際大会 (International Convention)

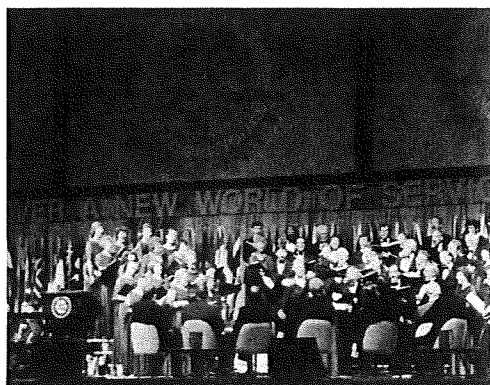
前号に続いて、カンザスでの大会の報告を致します。

このConventionは、多種多彩な行事が続き、加えて私は病院見学と老人ホーム視察、おまけに大リーグの試合まで観戦しました。とにかく多忙でしたが、充実して思い出の多い国際大会であったことを感謝申し上げます。

第一日 5月26日(日)

開会式は、2回に分けて開催された。姓の頭文字が、A～Kが午後4時、L～Zが午後8時という分け方である。

多くの歓迎の辞に続いて、カンセコ会長の基調講演、その後、余興番組として、年代順に各国の国旗を入場させながら、80年間のロータリーの奉仕の歴史を歌と踊りで綴って、開会式が盛り上った。



開会式の音楽番組



国際親善晩餐会にて

第二日 5月27日(月)

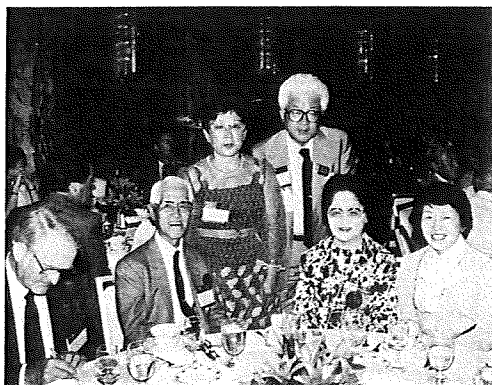
午前の本会議は、紹介と表彰、ピグマン事務総長の年次報告、ポリオの講演。夜は国際親善晩餐会として7会場に分れて親睦が図られた。私共は第四会場、各国の歌ありダンスありの楽しい会食であった。当地区よりは、近藤PG、森PG始め多数のご参加あり。秋の豊橋の地区大会においでになるトム・小林会長代理ご夫妻とも交歓した。

(晩餐会の写真はいずれも下郷弥太郎君撮影)

第三日 5月28日(火)

本会議では、財政報告、次年度RI役員の選挙と紹介、1986～87年度RI会長の選挙と紹介に続いてカバラス会長エレクトがご挨拶をされた。音楽の後、教育を通じての平和というテーマの下に講演があった。

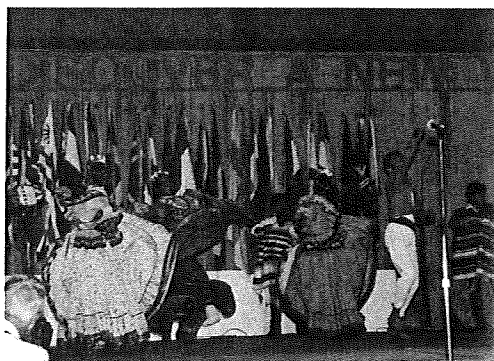
毎日、本会議には多彩な音楽が提供されて



国際親善晩餐会にて



ホームホスピタリティー



メキシコ民俗舞踊

いたが、本日はこの他に菅野潤氏によるピアノ演奏があった。同氏は塩釜RCの若きロータリアン。パリで修業中であるが、日本の菅野理事ご夫妻のご長男である。前夜の晩餐会会場でも楽しい曲を弾いて下さった。

昼食会は、カドマン次期RI会長ご夫妻と次期ガバナー及び次期クラブ会長ご夫妻との会食。盛大であったし、スピーチもよかった。

4時から、ホームホスピタリティーに出かけた。私共は偶然、向笠ご夫妻とご一緒だった。ホールマーク社の副社長のご夫婦に招かれ、更に夜には数チーム一緒になって、大変に楽しいひとときであった。

第四日 5月29日(水)

奉仕を通じての平和についてクライドル氏が講演、財団の報告の後、カドマン次期会長の家族紹介と講演、「YOU ARE THE KEY」

を基調としての計画と希望について述べられた。次いでブッシュ副大統領の特別講演があり、ロータリーの世界にまたがる平和への貢献を賛美された。

夜の閉会式はまだ満席で、私共次期地区ガバナーの紹介があり、退任する役員・大会役員への感謝の後、来年度のラスベガス大会の予告、カンセコ会長の家族紹介と感銘深い閉会の辞があった。余興として、メキシコのグアダハラハラバレー団の民俗舞踊が11時過ぎまで続いて、大会の幕は閉じた。



ホームホスピタリティー



閉会式の舞踊

エバンストンと シカゴ訪問

ガバナー 福田 浩三

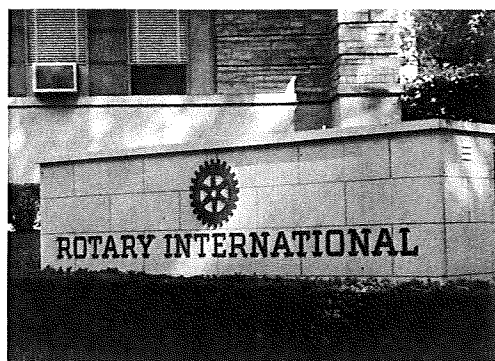
カンザスの国際大会の前に、私共ガバナーノミニーの一行は5月24日、エバンストンのR I本部を訪れた。

エバンストンはシカゴから約1時間の静かな学園都市である。本部の建物は美しい緑に囲まれている。内部はよく整備されて、ポール・ハリスの部屋とか壁に歴史が飾られ、会長室(下)、会長エレクト室(表紙)、理事会議室、その他隈なく見学した。

職員は現在約350人、出身地は約40ヶ国に及ぶ由。毎日の手紙の収受・発送の量は膨大であり、仕事量も多い。特に翻訳が大変のようだ。日本語のセクション(下)には、邦文タイプライターや古い文芸春秋・辞典類が見られた。私は、手続要覧や必携をもっと読みやすくするようにお願いした。

ロータリー財団の部門は手狭になって、7月1日から最近購入した別の建物に移るとのことであった。

要するに、人件費、設備投資、維持費等が



エバンストンのR I本部

年々膨脹する訳であるが、資金運営等が合理的・効率的に行われていて、心配はないようである。

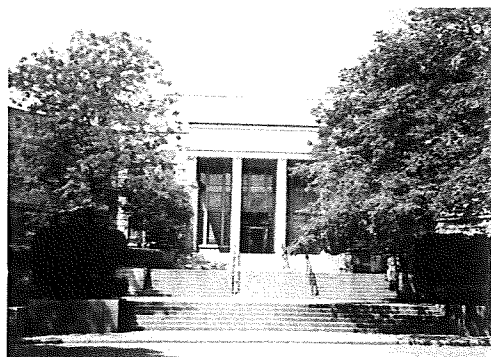
ポール・ハリスの墓は、シカゴのMount Hope Cemeteryにあった。我々一同、敬虔な気持ちに打たれた。偉大な方である。

ポール・ハリス711クラブ

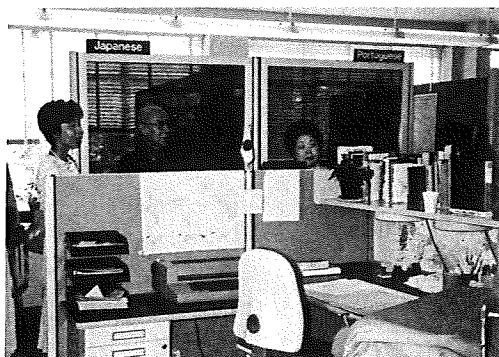
Room 711, 127 N. Dearborn St.
Chicago, Il 60602 USA

これが、ロータリー発祥の場所である。ポール・ハリス、ショーレー、シールの3人がこのローアの事務所に集ったのである。

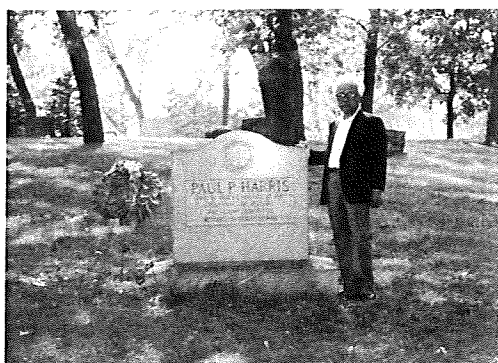
今やこのダウンタウンの真ん中のビルも、アメリカの風潮に抗し切れず、スラム化しつつある。そこで、シカゴRCがこの場所を永久保存するために711クラブを設立して、全世界ロータリアンに入会を呼びかけている。



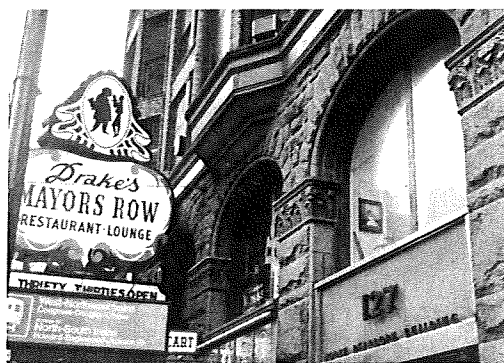
R I本部正面入口



日本語翻訳セクション



ポール・ハリスのお墓



シカゴのダウンタウン
このビルの7階にローアの事務所があった。

歴史と資料

過去にこだわるよりも、現在と未来に力を注ぐ方がよい。しかし、後になってルーツはどれだと大騒ぎするくらいなら、資料は適切に保存すべきだ。これは各時代の責務であろう。RI本部には資料がよく保管されていた。日本の場合、ロータリー文庫がある。但し、年々資料が膨大になってきたようだ。

260地区の資料は、一体どこにあるのか。ガバナー事務所は毎年移動していて、大した資料は受け継いでいない。



カドマン氏の部屋

本年度中に、歴史と資料を何かの形で纏めてみたいと思うので、ご指導ご協力をお願いします。

公式訪問を始めて

ガバナー 福田 浩三

7月11日の豊橋RCを皮切りに、ガバナー公式訪問を始めさせて頂いております。

私の方針は、無駄を省いてスピーディに、本音を語り合って、重箱の隅をつつかず、余裕を感じ合う訪問でございます。会長・幹事始め協議会ご出席の諸兄もそのおつもりで気楽に議論し、談笑し、お互いに実りある一日となるようにお願いします。

今迄の処、各地で大変温かいご配慮を受けて、楽しく巡礼しております。と申しまして、この原稿を書いている時点では11ヶ所が

済んだばかりで、まだ88%残っております。

ガバナーとして、新しいプロジェクトを推進したり、他地区の大会や海外に出かけて交流したり、また自己の職業奉仕をしたりするには、当地区は巨大過ぎて少し多忙にすぎます。いよいよ地区を分割せねばなりません。微力ながら、本年中に何かきっかけをつくりたい。どうかご協力下さい。



拡大セミナーについて



拡大カウンセラー
奥澤 俊一

1985～86年度R I アジア第1・第3ゾーン拡大セミナーは7月2日、蔵並モデレーター（R I 拡大委員、鎌倉RC、PG）の下に帝国ホテルに於て開催され、各地区の拡大カウンセラー、ガバナー・ノミニーが参加して、5時間に近い討議が行われた。各地区の発言によると、R I 会長方針が徹底して、都市は勿論のこと、町村に広くクラブの拡大をしようという意欲が感ぜられた。又、拡大はスポンサークラブ会長・特別代表・ガバナー等関係する人々の熱意に大きく左右されること、いわゆる2階建クラブ、会員2世の処遇、職業分類への配慮、新会員のみか、移籍会員中心か、キーメンの選択の重要性、活動的なクラブの育成、会員数の適正規模等について活発な意見発表があった。

表1 過去7年間の日本の地区別新クラブ数

(R I 日本支局及び各地区提供による資料) 1985年7月2日

地区	1978-79	1979-80	1980-81	1981-82	1982-83	1983-84	1984-85
250	1	2	1	1	0	4	0
251	1	2	0	0	1	1	0
252	0	1	1	1	0	0	
253	0	0	3	0	0	4	3
254	3	4	3	0	0	0	4
255	2	2	2	2	1	1	1
256	2	2	2	2	2	2	0
257	7	2	2	1	2	2	3
258	1	1	0	1	0	2	2
259	6	2	2	1	1	3	2
260	2	5	3	0	1	3	1
261	3	3	2	0	2	0	2
262	1	0	3	1	2	1	1
263	2	0	1	0	2	1	
264					2	2	3
265	2	2	3	1	1	3	2
266	2	3	2	1	2	4	3
267	0	2	1	2	1	1	1
268	2	0	1	1	2	1	2
269	0	0	1	0	1	0	1
270	2	2	1	2	1	1	0
271	1	2	0	2	0	0	1
273	4	3	3	1	2	5	2
274					1	1	2
275			1	0	1	0	4
279	0	1	2	3	0	1	1
計	44	41	40	23	28	43	40

表2 国別のクラブ増加数

(新クラブ及び終結クラブ数を含む)

(R I 中央事務局提供による資料)

1983.6.30—1984.6.30		1984.6.30—1985.6.31	
アメリカ	127	アメリカ	96
インド	60	インド	43
ブラジル	47	ブラジル	40
日本	43	メキシコ	37
フィリピン	36	日本	21
韓国	34	韓国	20
オーストラリア	31	イギリス	18
ナイジェリア	27	ナイジェリア	16
メキシコ	24	イタリア	14
フランス	20	オーストラリア	13
スウェーデン	20	フランス	12
タイ	19	カナダ	11
イギリス	19	ベネズエラ	7
イタリア	10	オランダ	7
マレーシア	9	スペイン	6
チリ	8	デンマーク	5
コロンビア	8	スイス	5
ドイツ	8	フィリピン	5
パキスタン	8	タイ	5
ドミニカ共和国	7	コロンビア	4
ベルギー	7	ドイツ	4
オランダ	7	ノルウェー	4
ノルウェー	7		∴
カナダ	6		∴
スペイン	6		∴
ニュージーランド	6		∴
	∴		∴
世界全体	649	世界全体	436
前年(1982-83)	404	前年同期	392

(1983.6.30—1984.3.31)

表3 世界の地域別新クラブ及び新会員数

(R I 中央事務局提供による資料)

		1980-81	1981-82	1982-83	1983-84	1984-85(5/31)
GB & I	新クラブ数	42	29	34	27	31
	新会員数	1,295	855	1,005	774	908
CENAEM	新クラブ数	106	80	84	107	115
	新会員数	2,584	1,903	2,057	2,669	2,744
ANZAO	新クラブ数	37	50	52	76	82
	新会員数	976	1,325	1,547	2,227	2,352
Asia	新クラブ数	190	157	186	226	240
	新会員数	5,345	4,492	5,189	6,534	6,622
SACAMA	新クラブ数	81	101	98	127	154
	新会員数	1,975	2,466	2,440	3,192	3,670
USCB	新クラブ数	93	83	82	151	152
	新会員数	2,475	2,229	2,146	4,000	4,171
世界全体	新クラブ数	549	500	536	714	774
	新会員数	14,650	13,270	14,384	19,396	20,467

会員増強セミナーに出席して



地区会員増強副委員長
福田 源一

去る7月3日、東京帝国ホテルに於て会員増強セミナーが開かれました。全国27地区のガバナーノミニーと委員長が集まり、新年度の緊張した雰囲気の中で今井モデレーターと伊藤R I 理事、渡辺ガバナー会議議長、抽冬支局長の3氏を迎え、各地区の現状報告と問題点の指摘が行われました。カドマンR I 会長「ここ2、3年、ロータリーは相当成長をいたしました、その殆どが新クラブの設立を通じてであり、既存クラブの増強によるものではありませんでした。既存クラブが殆ど増強されていない最近の傾向を変えるに当り、皆様が鍵となるのであります」。ピグマン事務総長「ロータリーを分ち合いたいと願い、クラブにとり奉仕活動の充実出来るような立派な会員を迎え入れる事を期待します」。以上、お2人のメッセージが朗読され、今井モデレーターから「昨年のカンセコ会長の6%百万人の積極的展開が図られたが、最終98万人程になったと思う。カドマン会長のスピーチは具体的数字はあげられないが増強の必要性を強調され、特に既存クラブの減少理由は親睦の欠如、週1回出席出来ない若い会員が退会している。退会する人は、残るメンバーより平均年齢が3才若い。ロータリーの社会的使命、国際的使命から考え直していただきたい。昨年、末永さんが世界に訴えられた会員増強の理論的根拠は、世界共通最大のニーズは「平和への希求」である。“The day after”の核戦争回避が最大の課題である。ガルブレス教授によれば、原爆25,683発、広島原爆の百万倍が備蓄されている。“The day”は憎悪、誤解、疎遠の人間関係から招来され、友情、相互理解、信頼からは来ない。“The day”を招来させない為の世界ニーズに役立つ為には、百万人では少なすぎる。本日のセミナーの真意を把握されたい」とのご挨拶があり、世界

の会員動向の説明がありました。(下表Ⅰ)

次いで地区別現状と問題点の報告が行われました。主なる増強手法を列記しますと、①カドマン会長のテーマを地区協に集まった会長、幹事以下出席役員が率先して扉を開き、新会員迎え入れの決議をした。②地区に会員増強月間を設け、分区别委員長会議やクラブの卓話によって要請活動を行う。③今迄1人も候補者を推薦した事のない会員をリストアップして適格者の推薦を依頼する。④83-124テリトリーの拡大の制度を利用し、職業分類の先方にあつて当方にない候補者を話し合いで入会させる。⑤退会防止も増強につながる。『友』の6月号、Mr. クリウォール著「なぜやめるのか?」を参考に努力する等であります。会員増強が日本全国津々浦々迄の長い地道な努力が積み重ねられている事を、セミナーに出席して痛感いたしました。地区内全会員がKeyとなり、5人で1人の新会員を迎え入れられん事を、心から祈念して私の出席報告を終わります。

最後になって恐縮ですが、PG奥沢委員長提供の下表Ⅱをご参照下さるようお願いいたします。

表Ⅰ 世界会員増強推移

	新クラブ	増強数	既存クラブ	会員数
1980-81.6.30	549	19,791	5,141	895,740
1981-82.6.30	500	12,000		907,943
1982-83.6.30	539	18,695	△ 1,067	925,571
1983-84.6.30	550	35,685	16,000	961,256
1984-85.6.30	968	22,673	21,658	983,929

表Ⅱ RI260地区会員増強資料

分 区	82/6	83/6	84/6	±84	%	85/6	±85	%
尾張第一	1,515	1,539	1,644	105	6.82	1,724	80	4.89
東 尾 張	544	560	561	1	0.18	576	15	2.67
西 尾 張	461	474	529	55	11.60	545	16	3.02
三河第一	644	650	691	41	6.31	712	21	3.04
三河第二	838	828	860	32	3.86	871	11	1.28
小 計	4,000	4,051	4,284	234	5.78	4,428	143	3.23
東 北 信	629	625	700	84	13.44	749	40	5.64
南信第一	573	566	606	40	7.07	622	16	2.64
南信第二	460	464	481	17	3.66	500	19	3.95
小 計	1,662	1,655	1,796	141	8.52	1,871	75	4.00
計	5,662	5,706	6,081	375	6.57	6,299	218	3.58

青少年問題とどう取組むべきか(青少年奉仕委員会報告)



地区青少年奉仕委員長
バストガバナー

川瀬 保

青少年問題は今、世界中どこの国でも極めて深刻な国家社会問題となっている。

その国の将来を知ろうと思うなら、その国の今の青少年の姿を見よ、と言われている。企業や家庭でもそうだ。立派な後継ぎが育ちつつあるかどうかが会社や家の将来を決める。

南山大学の学長であった故ヒルシュマイヤー先生は、誠に敬虔なクリスチャンであり、ロータリーでも名古屋東RCの有力メンバーであったが、一昨年6月、街をジョギング中に倒れて不帰の客となられた。

先生の遺著「西ドイツと日本」は名著である。私は繰り返し拝読したが、中に西ドイツの青年たちの姿を述べたくだりがある。先生は自分の母国の大学生たちのふしだら極まる生活ぶりを詳述し、このような状態が改められることなく続くなら、ドイツ民族の出産率は急激に低下し、あと20年位で現在の人口6千万が3千万へと半減し、西ドイツは国家として存立困難になる、と憂えていられる。

自分の母国のことを殊更に悪しざまに言う者はいない。この本には著者の深い憂国の情が溢れている。同時に著者は、西ドイツにおけるこの事態は、やがて日本についても言えるのではないかと憂え、青少年対策の重要性を説いておられる。

日本は今、経済的には世界一豊かだが、この平和な社会も何年か先にはどうなるか、保証の限りではない。ヒルシュマイヤー先生の言葉が単なる杞憂に終るようなら、こんな有難いことはないが、それには時宜を得た青少年対策が大切である。

ロータリーで青少年問題を取り上げる場合、ローターアクトとかインターアクト等の方法論に重点がおかれがちだが、一番大切なことは関係者が真剣にやる気なのかどうか、問題に対応する勇気があるのかどうかの点であり、個々の具体策は二の次である。

昭和51年3月、作家の城山三郎氏は令息の卒業式に出席した。それはキリスト系の私立高校であり、校長は在日25年のドイツ人だと書いてあるから、恐らくはヒルシュマイヤー氏に違いない。その校長のお別れの訓示に、

「今の日本には、君たちの内部だけでなく、社会の隅々まで甘えが満ち満ちている。甘えは人間の気力を失わせ、人間を滅ぼし、国を滅ぼす。どんなことがあろうと、又、どんな程度であろうと、少しでも社会に貢献する人間になって生き、そして死ぬ」。

——この訓示は、去りゆく多感な青年たちを捉えた。在学中は時には校長とイザコザもあったが、去るに当っては「校長は偉い。尊敬する」という声が校庭に広がった。

校長の訓えからは、具体的に「何をどうせよ」といった言葉はない。しかし、日本もこのままではいられない。事の大小軽重は問わぬが、体を張って何事かを成し遂げようという気迫がなければ日本は救われない、との訓えであった。

ロータリーにおける青少年奉仕も、手段・方法をゴテゴテ論ずるよりは、担当者姿勢が大事だ。みんながヤル気にさえなれば、個々の方法論はどうにでもなる。

YOU ARE THE KEY!

君こそ何でもやれる立場だ。それでいても何もやらないようだったら——？ この答は、私には用意がない。

昭和60年7月度

分區別会員数及び出席率

昭和60年7月最終例会日現在

分 区	クラブ名	会員数	出 席 率	例 会 数
尾 張 第 一 分 区	半 田	69	97.58	4
	半 田 南	47	100.00	5
	東 知 多	50	94.27	4
	名 古 屋	215	96.32	5
	名古屋千種	56	97.47	5
	名古屋東	102	99.19	5
	名古屋北	100	99.47	4
	名古屋名北	55	100.00	5
	名古屋名東	61	100.00	5
	名古屋南	117	99.62	5
	名古屋港	108	99.50	4
	名古屋瑞穂	70	100.00	4
	名古屋守山	84	99.34	4
	名古屋中	111	99.44	4
	名古屋西	143	99.08	4
	名古屋大須	56	96.42	4
	名古屋東南	81	100.00	4
	名古屋和合	87	100.00	5
	東 海	57	96.09	5
	常 滑	67	99.24	4
東 尾 張 分 区	20C	1,736		
	犬 山	78	100.00	5
	岩 倉	34	97.57	5
	春 日 井	80	100.00	4
	小 牧	72	100.00	5
	江 南	65	100.00	4
	名古屋空港	66	100.00	5
	尾 張 旭	49	99.48	4
	瀬 戸 北	80	99.50	5
	瀬 戸 北	53	98.87	5
西 尾 張 分 区	9 C	577		
	あ ま	81	99.51	5
	尾 西	54	98.52	5
	一 宮	93	99.72	4
	稲 宮 北	83	100.00	4
	西 春 日 井	54	100.00	5
	尾 張 中 央	62	98.36	5
	津 島	39	100.00	5
	津 島	81	100.00	4
	8 C	547		
三 河 第 一 分 区	渥 美	60	93.33	5
	蒲 郡	74	95.15	4
	奥 三 河	59	95.34	4
	新 田 城	53	96.23	4
	豊 原	73	96.58	4
	豊 橋	121	100.00	4
	豊 橋 北	110	99.43	5
	豊 橋 南	77	100.00	5
	豊 橋 南 川	81	96.89	5
	9 C	708		

分 区	クラブ名	会員数	出 席 率	例 会 数
三 河 第 二 分 区	安 城	71	100.00	4
	碧 南	69	98.81	5
	一 色	53	98.57	4
	刈 谷	84	98.82	5
	西 尾	81	99.23	5
	岡 崎	96	99.76	5
	岡 崎 東	68	99.63	4
	岡 崎 南	77	100.00	4
	高 浜	39	100.00	5
	豊 田 東	93	99.73	4
東 北 信 分 区	豊 田 西	63	99.67	5
	豊 田 西	79	98.47	5
	12C	873		
	輕 井 沢	44	99.05	5
	小 諸	60	95.00	4
	丸 子	39	90.37	4
	南 佐 久	32	92.90	5
	長 野 東	96	100.00	5
	長 野 北	76	98.06	5
	長 野 南	56	99.11	4
南 信 第 一 分 区	長 野 南	35	100.00	5
	中 野 久	49	91.84	5
	佐 須 坂	41	98.17	4
	須 倉 上	44	95.00	4
	戸 倉 上	45	91.67	4
	上 田 東	66	97.55	5
	上 田 東	59	97.93	5
	14C	742		
	茅 野	34	94.08	5
	富 士 見	35	80.91	4
南 信 第 二 分 区	白 馬	36	90.58	5
	木 曾	47	95.92	5
	松 本 東	69	99.63	4
	松 本 南	40	96.86	4
	松 本 西	82	99.71	5
	松 本 西	52	96.33	5
	岡 本 谷	67	97.01	5
	大 町	62	97.28	5
	塩 尻	46	96.19	4
	諏 訪	59	94.92	4
計	12C	629		
	飯 田	88	100.00	5
	飯 田 南	82	100.00	4
	飯 田 島	31	97.93	5
	伊 那	85	97.95	4
	駒 根	65	100.00	5
	松 川	69	97.38	4
	箕 輪	32	96.66	4
	辰 野	49	100.00	5
	8 C	501		
計	92 クラブ	6,315	97.89	

地区ニュース

◆岡崎RC

リンカーン中学校の親善訪問

国際親善、国際理解を目的として、岡崎RCと米国カリフォルニア州オーシャンサイド市エルカミノレアルRCの仲介により、1981年来、愛知教育大学附属岡崎中学校とオーシャンサイド市リンカーン中学校との間で相互親善訪問を行っている。附属中学は1981年3月、1984年3月に訪米し、リンカーン中学は1982年7月に30名が訪日した。今回はエルカミノレアルRC幹事レスター氏(第534地区青少年交換委員)、リンカーン中学校副校長リンダ・ヘス先生ご夫妻他、教師ご夫妻4名、男子生徒9名、女生徒16名の総勢32名が来日し、7月11日から24日まで岡崎に滞在し、ホームステイを行った。相互親善訪問は計4回となり、既に軌道に乗り成果をあげている。

岡崎RCでは、7月17日一行の他、市長、教育長、岡田分区代理、附中教官及び生徒代表、ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ代表、短期交換生タビサ、報道関係等58名を招待して歓迎例会を行った。福田第260地区ガバナーからはメッセージが届けられた。リンカーン中学生による素晴らしい歌やダンスも披露され、会場の雰囲気も盛り上がった。



◆豊橋RC

古切手26万枚をガバナーに寄託

紅林会長は古切手200枚でBCG1本が買えることを知り、豊橋RCの国際奉仕事業として、ガバナーを通じて第260地区にこの事業を拡大することを考えた。

はじめは第260地区に因んで260万枚…BCG13,000本分…の収集を目標にしたが、ガ

バナー公式訪問が第2例会とあって、まだスタートしたばかりとあって260万枚は無理、そこで地区への呼び水として26万枚を集め、ガバナーに寄託した。紅林会長からこの提案を受けたガバナーも快く引き受けられ、その使い途について考慮中である。



◆ボール・ハリス711クラブ入会のお願い

ロータリー発祥の場所を永久保存する為、ボール・ハリス711クラブでは同クラブへ全世界のロータリアンの入会を呼びかけている。又、同クラブを紹介したビデオがガバナー事務所にあるので、ご希望の方は貸出しもするというのである。



◆RI第260地区 1985-86年度地区行事予定 一部変更のお知らせ

第4回地区諮問委員会 1月18日→1月25日

ガバナー公式訪問日程

9月

2日(月)	あま	18日(水)	岡崎
3日(火)	西春日井	19日(木)	名古屋東南
4日(水)	稲沢	20日(金)	春日井
5日(木)	豊田	21日(土)	東知多
6日(金)	新城	25日(水)	長野東
7日(土)	奥三河	26日(木)	長野北
10日(火)	名古屋名東	27日(金)	松本東
12日(木)	名古屋瑞穂	30日(月)	駒ヶ根
17日(火)	犬山		